



実施の
お知らせ

第62回 白石地区親睦大運動会

日時 5月17日(日) 8:45～12:30
場所 山口市立白石小学校グラウンド
対象 白石地区住民
主催 白石地区スポーツ協会
申込 各自治会、町内会



※プログラムは、市報やまぐち5月1日号と一緒に配布される予定です。

実 社会体育部(白石地区スポーツ協会常任理事と福祉部会員)

イベント
開催

SLに向かって 手を振ろう!

D51 (デゴイチ) 運行予定!
みんなの手振りで
盛り上げよう!

日時 5月2日(土) 11:15発
場所 JR山口駅ホーム

SLやまぐち号公式サイトでご確認ください
※運行予定は、変更される場合があります



お菓子
50名様へ
プレゼント



SLやまぐち号運行カレンダー							SLやまぐち号運行カレンダー							SLやまぐち号運行カレンダー						
5月							6月							7月						
月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日
				1	2	3	1	2	3	4	5	6	7	1	2	3	4	5		
4	5	6	7	8	9	10	8	9	10	11	12	13	14	6	7	8	9	10	11	12
11	12	13	14	15	16	17	15	16	17	18	19	20	21	13	14	15	16	17	18	19
18	19	20	21	22	23	24	22	23	24	25	26	27	28	20	21	22	23	24	25	26
25	26	27	28	29	30	31	29	30						27	28	29	30	31		

※牽引機関車は、すべてD51 (デゴイチ) を予定しています。

実 「やまぐちえき」応援イベント

ご報告
2/21

令和7年度 小中学校交流イベント 「逃走中」開催レポート!



本気で子どもたちと向き合う大人たちの姿が印象に残る、温かいイベントとなりました。(高橋 記)

実 小中学校交流イベント「逃走中」(白石小・中学校おやじの会)

ご報告
3/8

令和7年度 白石地区 自主防災発災実動訓練

白石地域交流センター、白石小学校の2会場で発災実動訓練が行われました。

黄色いタスキで皆さんの安否確認をし、消防団員のご指導の下、避難所を開設しました。白石小学校では、ダンボールベットや簡易トイレを組立て、実際に触れてみて使い勝手の良さにビックリしました。

東日本大震災から15年をテーマに講演が行われ、当時の記憶が蘇り、防災意識を再認識しました。

最後は、皆さんと豚汁で冷えた身体を温めました。

(ボランティアの方々、ご協力ありがとうございました! 辻田 記)



令和7年度 白石地区 自主防災士認定者紹介

白石地区に新たに3名の防災士(日本防災士機構認証)が誕生。地区内の防災士は32名となりました。

- 📌 幡谷 泰史 (西糸米自治会)
- 📌 西村 孝次 (白石分団)
- 📌 山崎 昇 (白石分団)

※敬称略



実 自主防災活動参加促進 ※白石地区の防災士資格取得補助制度あり

※ 誌面中に登場する(実)は、実行委員会を意味しています。活動にご興味のある方は、弊会までお気軽にご連絡ください。

第30回 山口と大内氏19 – 興隆寺旧境内の大量出土銭

県立山口博物館には、多くの資料が収蔵されています。その中に「興隆寺旧境内の大量出土銭（右下）」があります。この資料は、昭和47年（西暦1972年）5月に大内氷上の興隆寺旧境内の畑地で、造成工事中にみつけられました。備前焼の大きな甕に、錆びて数十枚ずつ固着した状態で、銭貨がいっぱいに納められていました。銭貨の総重量は、294匁あったと言います。

「大量」という言葉に明確な定義はありませんが、研究者の間では1,000枚以上の銭貨がまとまって出土した場合を言うことが多いです。何故、大量の銭貨を土中に埋めたりするのか？その理由は良く分かっておらず、貯蔵や貯蓄、地鎮等の祭祀、戦災時の緊急避難など、出土場所や状況から様々な説が出されています。

銭貨の総枚数は未詳ですが、40年前に一部を対象とした銭種の分類調査が行われた際は、40.1匁分（重量比で全体の13.6%）で12,141枚ありました。この数値をもとに計算しますと総枚数は89,000枚余りとなり、現在の金銭感覚で言えば、1千万円くらいでしょうか。分類調査の結果、銭貨は中国大陸や朝鮮半島で造られたいわゆる「渡来銭」で、最古の銭種は「貨泉（西暦14年初鑄）」、最新の銭種は「朝鮮通寶（1423年初鑄）」、最も多い銭種は明の「永楽通寶（1411年初鑄）」で、容器である備前焼の形状から1400年代の後半頃に埋められたと考えられています。

当時、日本は自国の通貨を持たず、中国や朝鮮半

島などから輸入した銭貨（渡来銭）を使っていました。軍記物として知られる『太平記』には、大内弘世が京都へ上った際「数万貫*の銭貨・新渡の唐物等」を、貴賤を問わずに大盤振る舞いをしたと記されています。軍記物にありがちな誇張を差し引いても、大内氏はすでに弘世のころに、銭貨をはじめ海外の物品を多く入手出来る手段を持っていたことが分かります。

*銭貨の一貫は、千文（一文銭で1,000枚）。



画像提供 山口県立山口博物館

受講者募集

令和8年度 新講座

古文書の解き方勉強会

元毛利博物館館長 小山 良昌 氏

日時 5月～翌年3月（毎月第2水曜日）
13:30-15:30 ※初回5月13日

場所 白石地域交流センター 視聴覚室

参加費 無料 ※要申込

申込先 白石地区地域づくり協議会
☎ 941-5959



小山 良昌氏

新たな講座は、「古文書」の解き方。入門編、中級編、上級編を予定しており、興味のある方ならどなたでも気軽にご参加いただけます。

ご報告 2/14

史跡巡りバスツアーを開催!

文化財専門監 古賀 信幸 氏

「大内氏ゆかりの地を訪ねて」と題して、史跡巡りバスツアーを開催いたしました。

常栄寺、瑠璃光寺など、皆様よくご存知の場所ですが、講師の古賀先生にご説明を受けて、歴史をより深く感じ、その時々景色が浮かんでくるようでした。

興隆寺では、重要文化財の梵鐘を撞き、楽しく学ぶことのできた一日となりました。（辻田 記）



実 白石歴史探訪 ※只今、実行委員募集中! 白石地区在住で歴史に興味がある方お待ちしております!